

活力あふれる 住みよい長崎!

長崎市議会議員

井上重久 No.54 だより



令和元年11月 発行責任者 井上 重久 編集責任者 石川 章孝 長崎市水の浦町1-1 TEL095-861-6032



450周年記念事業実行委員会設立総会(令和元年8月22日、ホテルニュー長崎)



クルーズ船が寄港する海の玄関口(松ヶ枝国際観光船埠頭)

長崎開港450周年記念事業への対応
朝夕の冷え込みを感じながら、385年の伝統と歴史を誇る「長崎くんち」も天候に恵まれ幕を閉じ、各地域では五穀豊穡・ふるさとの繁栄や氏神様に対する感謝の気持ちを込めて「里くんち」が開かれています。
さる9月定例会において、市政一般質問を行いましたので、長崎開港450周年記念事業の概要を掲載します。長崎港は、ポルトガル貿易船が入ってきた元亀2年(1571年)に開港、鎖国時、日本で唯一の海外への玄関口として海外の産業・文化の受け入れに重要な役割を果たし、その後明治時代には上海航路などの連絡船が寄港する貿易港として発展してきました。

海洋利用の視点から 新たな関連産業の育成・創出の契機に!
また、長崎の海洋フィールドにある基幹産業である造船に加え、海洋構造物などの製造業をはじめ、流通・水産・観光・レジャーなどの技術・資源を活かし、広い海洋利用の視点に立った新たな関連産業の育成・創出に向けた契機とし、新しい港の活かし方や海の楽しみ方の創造につなげるため、さる8月22日官民一体となった「長崎開港450周年記念事業実行委員会」が設立されました。
長崎開港400周年記念事業の際は、今回と同様に、長崎県、長崎市、長崎商工会議所を中心に実行委員会を組織し、記念式典や祝賀パレード、長崎港に関する各種展覧会、記念誌の発行などを実施し、市民、県民をあげて開港記念をお祝いしています。
今年度の事業計画では、ワーキンググループにおいて、「長崎港魅力発信・イベント関係」と、「港を活かした地域活性化関係」について具体的な検討が行われます。

併せて、令和2年11月29日に被爆75周年を記念して「長崎平和マラソン」の開催、令和3年11月開業を目指す「出島メッセ長崎」、令和4年度中に完成を目指す「新市庁舎」など、将来につながる節目のイベントや、大型事業の形が見えてきました。今後とも、皆様方のご指導・ご鞭撻をよろしく願います。

長崎市議会議員 井上 重久



スコットランド歓迎レセプション(令和元年9月12日、ホテルニュー長崎)



連合2019平和ナガサキ集会(令和元年8月8日、長崎県立総合体育館メインアリーナ)



MIC施設建設工事起工式(令和元年8月2日、尾上町(長崎駅西口))



長崎くんち(魚の町川船)(令和元年10月7日、長崎市役所前)



福田小学校区コミュニティ連絡協議会設立総会(令和元年9月30日、福田地域センター)



長崎郷土芸能矢上平野浮立(令和元年9月29日、浜町アーケード)

お野の備忘録

8月~10月



ここが防災アプリの説明を受ける!



金沢市消防局ドローン(全長144cm、全高70cm、重量10.5kg)

防災対策特別委員会調査(10月2日~4日)報告!
防災対策特別委員会は、さる10月2日から4日にかけて兵庫県上郡町・加古川市・金沢市を訪問し、気象防災システムの活用について、災害情報伝達手段等の高度化事業について、災害現場におけるドローンの活用についてなど行政調査を行った。
近年の台風・集中豪雨・地震など自然災害が多発する中、各自自治体においては防災・減災の視点から過去の災害の反省と教訓を生かした災害情報システムの整備、地域防災力の向上などに努めている。
長崎市においても、現在、屋外拡声子局462箇所(新設62、建替56、既設利用400)の防災行政無線デジタル化への整備、戸別受信機の購入など災害情報伝達手段の高度化を図っている。
今回の調査を踏まえ、先進都市で活用されているマルチメディアを活用した「防災アプリの導入」、災害対応力向上に向けた「ドローンの活用」など、防災対策特別委員会のなかで反映していきたい。

ご相談はお気軽に!
長崎市議会議員 井上重久
自宅 長崎市大浜町408 ☎ 865-3553
生活相談室 長崎市水の浦町1-1 ☎ 861-1985
http://inoueshigehisa.net/

編集後記
▼フランシスコローマ法王が、11月23日から25日にかけて日本を訪れる。唯一の被爆国である長崎・広島に被爆者やカトリック信者、多くの関係者にとって大変喜ばしいことだ。
11月24日午後には長崎を訪れ、ビッグNスタジアムでの大規模なミサが行われるなどカトリック信者を始め、全国から関係者が長崎を訪れる。歴史に残るビッグイベントに県民・市民の協力は不可欠となる。
被爆地長崎から「核兵器廃絶、平和を願うメッセージ」を世界に発信する事が期待される。
▼長崎市では、暮らしやすいまちにしたいために、「地域のことは地域で決める」地域コミュニティのしくみづくりについて、小学校区や連合自治会単位で、まちづくり計画に基づく事業が進められている。このような中、福田小学校区においても、約半年を超える準備委員会や、ワークショップを経て、9月30日「福田小学校区コミュニティ連絡協議会設立総会」を開催、長崎市で13番目の協議会設立となった。
今年度は、構成団体の既存のイベント・行事などを協議会主催にどのように移行するか検討、地域の担い手の育成、地域のつながりを継続するための協議などを行う必要がある。

一般会計補正予算総額12億802万2千円、37件の議案を可決・同意!



21回目の登壇(令和元年9月9日、本会議場)

一般質問(要旨)

質問…公共施設マネジメントの取り組みについて、短期的にも数値的な削減目標を立て進めるべきではないか?

回答…公共施設マネジメントは、将来にわたり長崎市が暮らしやすいまちであり続けられるよう、次世代に大きな負担を残すことなく継承できる、持続可能な公共施設へと見直すために取り組んでいる。

平成27(2015年)年2月に策定した「長崎市公共施設の用途別適正化方針」における2044年までの削減目標である約25%の床面積の削減は、2018年時点で2.3%となっている。

施設の見直しは、市民との対話を踏まえながら進めており、施設の削減面積等について

短期的な数値目標設定は難しい。

しかし、施設保有量の適正化に向け、将来の市民ニーズ、社会環境の変化等を十分に検証し、今後とも保有面積の総量抑制に努める。

質問…公共施設の年間コストの推移は?

回答…平成27年度からの公共施設の年間コストの推移は(行政財産と一部の普通財産合計)は、決算ベースで平成27年度約100億3千万円、平成28年度約99億円、平成29年度約98億3千万円となっている。

直近の平成29年度と平成27年度を比較すると、約1億9千万円の減となっている。今後とも、施設保有量の総量抑制と合わせ、施設維持管理費の適正化に努める。

質問…低・未利用資産の有効活用は?

回答…平成26年度から平成30年度における市有財産の売却は、随意契約で191件、面積約10万7000㎡、金額で約37億2000万円、一般競争入札では24件、面積約6000㎡、金額で約1億5000万円となっており、合計すれば215件、面積約11万3000㎡、金額で約38億7000万円となっている。

低未利用資産を保有し続けることは、売却における収入が確保できないことに加え、固定資産税等の収収の機会を損失することになり、保有資産の活用・売却・留保等の方針を明確にしていきたい。

質問…松が枝国際観光船埠頭2パース化への取り組みは?

回答…平成23年度の「長崎港長期構想」の策定段階から関係する地元や企業等には周知を行っている。

平成29年度から県と合同で取り組んでいる2パース化により、整備される岸壁背後地の整備構想の策定の中においても、県と市が協力して、地権者や関係者の皆様に現状説明や、今後の土地利用に対する意向調査などを行い、背後地整備へ



自席から再質問、意見要望を述べる

の理解を深めてきた。

長崎市は、これまで県をはじめ関係団体と連携し、国などに対し要望活動を続けて、今年度の国土交通省予算に2パース化に向けた事業化検証調査費が計上された。

今年度は、事業着手の地元の機運を高め、国に対して強力に事業着手を働きかけていくため、7月に経済界や関係団体と「長崎松が枝国際観光船埠頭整備促進期成会」を組織し、8月には国等に対して要望活動を行った。

質問…一般国道202号の整備促進並びに(仮称)福田バイパスの早期事業化について?

回答…福田地区の幹線道路である一般国道202号は、道路幅員が狭く、大型車の離合がしにくい区間や歩道が十



2パース化に向け調査費が計上された松ヶ枝埠頭

分確保されていない区間、さらにバスベイが設置されていない箇所が残され、交通環境の改善が喫緊の課題となっている。

こん日まで一般国道202号(福田バイパス)道路整備促進協議会を中心に、県や国などの関係機関に対し、現道改良の整備促進を働き掛けている。現道の改良策は、これまでに歩道整備が約740m、バスベイ整備が11箇所完了している。

現在は、小浦舟津公園前交差点から福田郵便局前交差点の約770mの歩道整備が進められ、この区間における平成30年度末の進捗率は事業費ベースで約68%、用地取得率は約91%となっており、令和4年度の工事完成を目指して整備が進められている。

一般国道202号拡幅工事(福田地域センター前付近)

質疑の概要、意見・要望は井上重久ホームページ「議会報告」のなかに掲載していますので、是非アクセス頂ければと思います。

長崎市議会令和元年第4回定例会は、9月2日開会し9月20日までの19日間の日程で開催されました。補正予算は、夜間の観光消費の促進策を考える官民協働の「ナイトタイムエコノミー(夜間の経済活動)」を推進する組織の設置費67万円、野母崎炭酸温泉Aiega(アレガ)軍艦島運営費等補助金2,536万8千円など一般会計10億6,368万7千円、特別会計1億4,443万5千円の総額12億802万2千円が上程され可決しました。

条例改正では、学会、大会、展示会等の開催の場を提供し国内外の人々の来訪及び交流を促す「出島メッセ長崎条例」、仁田佐古小学校の移転に伴いその位置を変更する「長崎市立小学校条例の一部を改正する条例」、経営状況等を総合的に勘案して民間移譲するに伴い野母崎炭酸温泉Aiega軍艦島を廃止する条例など可決しました。

また、防災行政無線のデジタル化への対応を図るため戸別受信機を購入する財産の取得について、長崎市総合消防情報システム更新工事の請負契約の締結についてなど、人事案件では任期満了に伴う教育委員会の委員の任命について、固定資産評価審査委員会の委員の選任について、人権擁護委員の候補者の推薦についてなど、条例17件、予算4件、人事3件、その他5件、報告8件を可決・同意しました。

請願第6号「生活保護基準引き下げ中止を求める請願について」は不採択となりました。併せて、平成30年度長崎市一般会計歳入歳出決算は、所管の各常任委員会に分割付託、特別会計・企業会計等(14件)は閉会中の各常任委員会に付託されました。

9月補正予算の主な内容

◆障害者福祉施設整備事業費補助金
 (1)障害者支援施設 8億6,524万4千円
 5億2,692万円
 障害者支援施設の建て替えに係る施設整備に對して助成するもの。

(2)就労継続支援事業所 2億7,483万4千円

就労継続支援事業所の建て替えに係る施設整備に對して助成するもの。

(3)共同生活援助事業所 6,349万円
 共同生活援助事業所(短期入所事業所併設)の創設に係る施設整備に對して助成するもの。

◆文化財保存整備事業費
 国指定重要文化財旧オルト住宅 ……1,220万円

国庫補助の追加内示に伴い、旧オルト住宅の耐震診断を実施するもの。

◆商業振興対策費
 ナイトタイムエコノミー推進費 ……67万円
 官民協働で「ナイトタイムエコノミー(夜間の経済活動)」を推進する組織を設立し、夜間の長崎の魅力創出や消費活動に向けた取り組みを支援するもの。

◆新産業・起業チャレンジ促進費 ……74万1千円
 市内企業の新分野進出や長崎市等が行う起業支援の取組みを周知するとともに、新産業創出の機運醸成を図るためのセミナーを実施するもの。

◆長崎歴史文化博物館特別企画展負担金 ……1,000万円
 キリシタン潜伏の歴史や、キリシタン関連遺品等



国指定重要文化財 旧オルト住宅

について広く周知を図るため、ローマ法王の来崎が期待されている時期に合わせ、長崎歴史文化博物館において展示会を開催する経費の一部を負担するもの。

◆野母崎炭酸温泉Aiega軍艦島運営費等補助金 ……2,536万8千円
 赤字経営のため民間移譲を予定しているAiega軍艦島について、既に宿泊等の予約が入っている令和元年12月末まで運営することにより、宿泊客等へ誠実に対応するとともに、令和2年1月の民間移譲までの間、切れ目なく営業を続けるため、当該事業の運営費等を補助するもの。

◆民間委託予定の野母崎炭酸温泉Aiega軍艦島
 民間委託予定の野母崎炭酸温泉Aiega軍艦島

◆西町小校舎等改築 ……1,120万円
 校舎が老朽化している西町小学校について、改築に向けた調査等を実施するもの。